

行財政改革市民会議(平成23年度第2回) 会議録

日時：平成24年3月23日(金)
午後7時～9時
場所：市長公室

出欠状況

委員長	副委員長				
関野	関	五十嵐	江村	遠藤	大島
○	○	○	○	○	○
加藤	齋木	田中	羽石	柳田	
○	欠	○	欠	○	
事務局(政策企画課)		課長、古屋、吉川			

内 容
<p>1 開 会 政策企画課長</p> <p>2 あいさつ 関野委員長</p> <p>3 議 事 (1) 第5次行財政改革行動計画について ・資料に基づき、事務局より説明</p> <p>○質疑 委 員：今年度も終わろうとしているが、行動計画に「平成23年度に実施したこと」が記載されていない。 実施したことが分からなければ、意見を言うこともできないが、平成23年度に計画したどの程度が実施できたのか。 事務局：今回の会議は、行動計画の内容について委員の皆様にご説明するものである。平成23年度に実施したことは、今後各課に調査依頼し、来年度の会議で詳細を報告する予定である。 ※政策企画課長から平成23年度行動計画の実施状況について説明。 委 員：説明を聞く限り、概ね7～8割は実施できたということか。 事務局：そのとおり。 委 員：「1. 窓口サービスの改善」について。 年度末や年度始めの窓口の臨時土曜開庁は従来から行っているが、毎月行う予定はないのか。出張所の休日開庁は、行わないのか。 「2. 市民協働による環境美化活動(「クリーン週間」・「富士見市をきれいにする日」とあるが、私の地区ではすでに決まった日の美化清掃活動を行っている。</p>

勝手にきれいにする日を決められても困る。

「3. 町会への加入促進」とあるが、転入時に町会への加入を市が窓口で勧めて欲しい。

「4. 公民館、交流センターなどの連携・活用」とあるが、町会や公民館区、小学校区が違うため、諸活動に不都合な面もある。それぞれうまく連携できるように市が調整してもらいたい。

事務局：1. 窓口サービスについては、試行的ではあるが毎月第1土曜日に午後12時半まで開庁をおこなっている。出張所については同様の取組みを実施していないが、西出張所において、毎月最終木曜日に午後8時まで業務時間を延長している。

2. 市民協働による環境美化活動については、可能な範囲で、自宅前の道路等の清掃をお願いするものである。美化清掃活動を行っていない地区もあるので、市全体に広めたいという趣旨で実施するものである。

3. 転入時における窓口での町会加入依頼については、実施しているかどうか確認し、次回の会議で報告する。ただし、震災などの影響による防災意識の向上に伴い、町会への加入意識は高まっていると思う。(後日、担当課に確認したところ、転入時に「町会に加入しましょう」というパンフレットを配布しているとのこと。)

4. 公民館、交流センターなどの連携・活用については、難しい話ではあるが、公民館、交流センターなどの連携にとどまらず、5年間の計画を通して、町会や公民館区、小学校区が連携できるよう調整していけたらよいと思う。

委員：行動計画を5年間継続していくというのは分かるが、PDCAサイクルにおけるC(評価)やA(改善)はどのように行っていくのか。

事務局：毎年度実施したことだけでなく、実施できなかった事については、その理由等を記載し、自己検証するとともに、当会議等で意見をいただき、改善していきたい。

委員：各担当課で行動計画を定めているが、横のつながりをもっと持ってもよいのではないか。

事務局：責任の所在を明確にするために担当課を決めているが、行動計画によっては別の課との調整会議の開催や、行動計画を取りまとめている政策企画課が調整役となるなどして、横のつながりを確保している。

委員：予算がない、行財政改革が必要というならば、市は何でも無料でサービスを提供するのではなく、市民から使用料等を取ってもよい施設等もあるのではないか。例えば、難波田城公園、屋外看板広告料など。

事務局：使用料等を取っていない施設等については、施設の設置目的や性質を踏まえたものであり、ご理解いただきたい。

委員：当会議の委員の意見はどのようにフィードバックされるのか。ただ意見の言いっぱなしでは困る。

事務局：当会議の意見等は、政策企画課を通して各担当課へ伝え、その結果は、後日、当会議で報告する。

(2) 事務事業評価と事業仕分け結果について

- ・資料に基づき、事務局より説明

○質疑

委員：事業仕分けに参加したが、無作為に市民判定人を選んだために事業を理解していない方が多かったと思う。このため、市の説明の範囲で判定し、廃止という意見が出なかったのではないかと思う。個人的に仕分け人は、該当事業に造詣が深い者に依頼したほうが良かったと思う。

事務局：仕分け人は市が依頼した有識者のほか、市民目線により広く意見を出していただくという趣旨で、こういう形で行った。

なお、仕分け人として参加していただける分野については、事前に希望をお伺いし、希望どおりに割りふっている。

委員：事業仕分けを行うにあたって、準備がとても大変だったと聞いた。

事務局：今回は2回目の事業仕分けのため、1回目に比べてスムーズに出来たと思う。

委員：事務事業評価の2次評価結果をみると継続が多いが、この際、継続と言う項目はなくしてはどうか。

事務局：2次評価については、法令で決まっているため継続とせざるをえない事業も数多くあるが、改善に近い継続もあることから、「継続」とはいえ、内容は幅広いものとなっている。

委員：事業シートや資料は、よりわかりやすく作成して欲しい。

事務局：そのようにしていく。

委員：人件費の算出がわかりにくかった。

事務局：人件費を含めて評価していただくため、概算人件費を明示した。

(3) 平成24年度予算について

- ・資料に基づき、事務局より説明

○質疑

委員：「プレミアム商品券の発行」とあるが、税金を使ってまで、商品券に上乘せする必要があるのか。

事務局：地域経済の活性化には必要であると考えている。

委員：商工会の立場から言わせてもらえると、前回のプレミアム商品券をみても、地域経済の活性化に大変意義がある。

(4) 意見交換

○特になし

4 閉会